

FC岐阜 大好き 通信

『ぎだいとおり』ではありませんが、そう呼んでいただいてもOKです。FC岐阜のサポーターが小さな話題を集めてお配りします。試合前の時間つぶしにご利用ください。会場に残されるとごみになっちゃいますので、お持ち帰りください。会場美化にご協力を。



試練であり、好機。反撃の開始だ！

後期第06節 横河武蔵野FC戦 の巻

8月3日(金) 19時～

岐阜メモリアルセンター長良川競技場

JFL初黒星となったホーム戦のカタキを討つべく乗り込んだ太陽が丘で、佐川印刷と0-0のドロー。「勝てない」とともに「点が取れない」ことも問題だ。松永体制初戦の鳥取戦こそ4点の大爆発だったが、その後5試合でわずか1得点とかなり深刻。さらに、その太陽が丘で片桐とジョルジーニョが警告を受け、今節は2人揃って出場停止の模様。さあ困った。しかし、逆に言えば控えに甘んじている選手達にとっては絶好のチャンス。対する相手は横河武蔵野FC。現在、岐阜が4位で武蔵野が5位。直近のライバルを叩いて波に乗ろう。

◇佐川印刷戦

●後期では一番良い内容だったと思います。しかし全く得点する気配を感じなかったのも事実です。チームとしての戦い方は浸透してはきてますが個々の判断(特に2トップ)のまずさが目立ちました。そして酷な言い方ですがこの戦い方では今の2トップではダメと思いました。和多田が復帰すれば和多田とどちらか。和多田にメドがたたないならポストFWの補強の必要性を感じました。この2トップで戦うのであれば、中盤の運動量豊富な選手の補強が必要でしょう。いずれにせよ、「補強は必要」って結論を出さざるを得ません。現存メンバーで戦えれば一番いいのですが…

まだ治ってないです。でも兆しは見えてます。底は脱しました。あとは真摯に応援し続けよう!!(ジュニア)

●FC刈谷戦や佐川急便戦の際に感じたのは「とにかく窮屈」だということ。狭いエリアでのプレーが目立ちなかなか前に進めないという状況だった。それがアローズ戦や栃木SC戦では「チグハグ」に変化した。あいたスペースへの突進や大胆なサイドチェンジを志向する選手はいるもののそうでない選手もいる、という感じ。そして先日の佐川印刷戦の状態を表現するならばそれは「もたもた」だ。かなりの選手が「広いサッカー」を志向しているのが見て取れる。ただ悲しいかな軽快なテンポの下にそれを実践できているわけではない。

「窮屈→チグハグ→もたもた」。どれもネガティブな単語ではあるがスクラップ・アンド・ビルドの途中と考えればこれはわずかだが確実な進歩だ。そこを大事にしたい。(TAG)

●あと1歩、本当にあと1歩あれば！と思いたくなるシーンが増えたのは好気配。しかしその前に、FWの展開力の少なさを選手は感じているのだろうか。もっとピッチを広く使うサッカーをして欲しい。

小島も復帰したし、光はかすかながら見えている。あとはその光を大きく、明るくするだけだ。(あふろん)

【予告】8/19はメモリアルを緑の旗で埋め尽くそう！

8月19日のホームゲーム・ロッソ熊本戦にて、ピッチで戦う選手たちを勇気付けるためにスタンドを『緑色』の旗で埋め尽くしませんか？方法は簡単。選手入場時にメインスタンド・バックスタンド・ゴール裏の各方向から、『緑色』の旗やゲーフラを掲げて選手たちを出迎えます。岐阜の選手を勇気付け相手選手にプレッシャーを与えるのです。旗はオフィシャルのLフラッグ、ミニフラッグからオリジナルの大旗、ゲーフラなど『緑色』の旗なら何でもOK。特にオリジナル旗は大歓迎ですよ！(但し、岐阜や相手選手・チームを誹謗中傷する内容のものはお断り)(8.19フラッグ祭り発起人：上平達也)

直近3試合の結果

後03節 ● 岐阜 1-2 流経大
(岐阜得点者：岩田)
後04節 ● 岐阜 0-2 栃木
(岐阜得点者：なし)
後05節 △ 佐川印 0-0 岐阜
(岐阜得点者：なし)

順位表／TOP9

後期第5節現在

1. 佐川 54pts +35
2. 熊本 47pts +22
3. YKK 41pts +11
4. 岐阜 38pts +8

5. 横河 37pts +10
6. 北陸 37pts +2
7. Honda 36pts +10
8. 千葉 35pts +1
9. 栃木 32pts +8

次回HomeGame

後期第8節
ロッソ熊本戦
8/19(日) 18:00
@岐阜メモリアルセンター長良川競技場

試合開始は18時です。間違えないでね！

試合前の腹ごしらえも、試合後の感想戦も、

岐阜駅すぐ前・グランパレホテル東側隣の『博多ラーメン・びったれ家』だ！

8/3と8/4、このMDP持参の方に生(小)1杯サービスかラーメン200円引！

Today's Guest - welcome to GIFU - 横河武蔵野FC

1939年に横河電機内の社内同好会として創部(現在のJFL加盟チームでは最古)。関東リーグ所属時代の1993年と1997年に全国社会人大会で優勝。1999年、Jリーグ再編=新JFL発足と同時にJFL加盟。以後、安定した成績を残す。2003年より地域のクラブチームへと運営体制を変更し、「横河武蔵野フットボールクラブ」に改称。

◇前期武蔵野戦の思い出

●やはり、今年行う会場の中で唯一「Jの常打ち会場」ということで、スタジアムは大きく、広く、綺麗であった。早くこういう会場で常に試合がやりたいという思いが強くなった。

試合前に横河の対岐阜戦に懸ける意気込み的なプロモーションビデオのようなものが放映されたが、そのあまりの出来のよさにビックリ。思わずおすそ分けをしていただきたくらいであった。

試合前、京王線の飛田給駅からスタジアムに向かう道沿いにはFC東京のフラッグがビッシリ。さらに建物の外壁をFC東京カラーの青赤に塗った建物まであった。岐阜でも、岐阜駅降りたらFC岐阜のフラッグがそこかしこに飾ってあるような雰囲気が出てくるようになればいいな、そんなことを感じずにはいられなかった。(リベロ)

◇Bチームを視れば「松永サッカー」がわかる？

●松永新監督は昇格前、半年間Bチームの指揮をとっておりました。なので現状のBチームを見ると松永監督の意図することが見える気がします。

身体的能力ではTOPチームの方が高いですが、ひよつとすると組織力で見るとBが上かも。ですから興味のある方はBチームをチェックするのもお勧め。ただし、週末などがFC岐阜潰けになることを覚悟の上でお願いします(苦笑)(ち～な)

●今後に悲観していない理由としては、今のBチームの状態を観たからです。Bチームは松永監督が戸塚前監督解任前まで指導していたチーム。そのBチームは、今の岐阜がやろうとしている「攻撃に約束事のあるサッカー」をしていたからです。もちろん、相手関係の問題もありますが、少なくともBチームよりも(現状としては)能力の高い選手が揃っているの、出来ないことはないでしょう。(緑の小太鼓)

投稿用メールアドレス=gidaidohri@hotmail.co.jp
編集発行：『岐大通』製作委員会
今号の製作担当：ささたく&吉田铸造